

競 技 注 意 事 項

1. 本競技会は2026年日本陸上競技連盟規則と本大会申し合わせ事項によって行い、大阪インターハイ（中央大会）出場者の決定は、大阪高体連陸上競技専門部ホームページに掲載の第79回大阪高等学校陸上競技対校選手権大会の要項記載通りに行う。

(1) 競技用シューズについて

審判長が疑義を抱いた場合、競技開始前、競技中、または競技終了後に競技用靴の検査を行う場合がある。競技用靴規定に違反して競技を行った場合は失格とする。

種 目	ソールの最大厚さ	その他の要件 / 注意
トラック種目（競歩を除く） フィールド種目 （サークルから行われる 投てき種目を除く）	スパイクシューズ または ノン・スパイクシュー ズ 20mm	すべての跳躍種目では、前足部中央のソールは、踵中央のソールより高くなってはならない。 （競技用靴に関する規程 8.3 項および 8.4 項参照 ：シューズ内部の長さの 12%と 75%の位置）
競歩種目 （トラック、道路）	40mm	

(TR5.2)

(2) 競技エリア内に携帯電話・スマートフォン・タブレット等の通信機器や録画再生機器等を持ち込んではいけない。

2. 入場について

各校顧問が入場者の把握に努めることとする。観戦は学校関係者・保護者のみとし、各校との関係について確認を取ることがある。

3. 競技場の使用について

(1) 競技者・付添等の関係者は指定された出入口から入退場すること。

(2) トラック、フィールド以外でのスパイクの着用は禁止する。

(3) テントの設置について

①正面の階段スタンドには設置しないこと（学校単位での場所取りは禁止）。

②テントは芝生スタンドに設置し、ロープ等が通路にかからないようにすること。

(4) 使用した場所は各学校で責任を持って清掃し、ゴミ等は必ず持ち帰ること（帰路で捨てない）。

(5) 更衣室は更衣のみの利用とし、1人5分以内とする。

(6) 陸上競技場から体育館へ通じる通路または体育館内フロア周辺への場所取りは禁止する。

他の競技団体が使用しているためトイレ・更衣以外は本部の許可がない限り、入らないこと。

4. 練習について

(1) 練習中の走る方向は競技会と同じ方向への一方通行とし逆走は禁止。学校・個人のハードル等は持ち込まないこと。また、ゴムチューブ等を使ったスピード練習は禁止する

(2) 競技場内および公園内でのメディシンボールなどの物を投げる練習は一切認めない。

(3) 投擲・跳躍競技は準備が整った後、競技役員の指示で練習してもよい。

(4) 駐車場や周回道路での練習は禁止する。

(5) 競技開始前のトラックでの練習は次のとおりとする。

競技開始前の競技場での練習について

競技会開始前の競技場（トラック）での練習は、周囲の動きに十分注意して行うこと。
ただし、練習可能時間内であっても競技会準備を優先とし、競技役員の指示に従うこと。
なお、競技場での練習は、1日目・2日目ともに8時30分までとする。
なお、安全のため日傘の使用を禁止する。

※いずれもジョグはレーン外で ・ 1、2レーンは長距離ペース走用

【1日目】

○ホームストレート

3～5レーン = 直線からのスプリント練習

6レーンは使用しない（接触等の防止のため）

7レーン = 100mH 8レーン = 110mH

○バックストレート

3～5レーン = コーナーからのスプリント練習

6～8レーン = リレー練習

※リレーバトン練習は1→2走 ・ 3→4走は第2コーナー、

2→3走は第3コーナーで行うこと。

各校で使用したリレーのマーク（テープ）は必ず取り除くこと。

【2日目】

○ホームストレート

3・4レーン = コーナーからのスプリント練習

5・6レーン = 直線からのスプリント練習

7レーンは使用しない（接触等の防止のため）

8レーン = 110mH

○バックストレート

3・4レーン = コーナーからのスプリント練習

5・6レーン = 女400mH 7・8レーン = 男400mH

5. 招集について

※招集所へのスマートフォン・携帯電話等の通信機器の持ち込みは禁止する。

※下記の時間帯に招集を完了できなかった場合は出場できない。

- (1) 招集場所は室内練習場とする。
- (2) 招集は競技開始時刻前の下記時刻で行う。

招集時間	トラック	跳 躍	投てき	棒高跳
開始時刻	30 分前	50 分前	60 分前	80 分前
完了時刻	20 分前	40 分前	50 分前	70 分前

- (3) 競技者は招集開始時刻には招集場所にて上半身競技服装になり、競技者係より点呼を受け、アスリートビブス・腰ナンバーカードおよびスパイクピンの確認を受けて、競技役員の指示により移動すること。
- (4) 招集の代理は認めない。招集時間帯に競技が行われる可能性がある場合には、**第1種目の招集開始時刻までに「多種目同時出場届」**を招集所へ提出すること。なお、第1種目は招集を受けなければならないが、提出をした第2種目は代理をたてる必要はない。
- (5) リレー種目について
 - ・オーダー用紙は**第1組の招集完了時刻の60分前**までに競技者係へ提出すること。
 - ・リレーの招集は4人揃って受けること。ただし、他種目に出場している時は「多種目同時出場届」を提出することで、代理を立てる必要はない。提出時には、ユニフォーム・アスリートビブス・スパイクの確認を受けること。
- (6) やむを得ず欠場する場合は、プログラムにある欠場届を競技者係へ提出すること。
- (7) 点呼後、招集所から競技場内へ移動する場合、競技役員や補助員の指示に従うこと。

6. 競技について

- (1) アスリートビブスは必ず胸部と背部につけること。ただし、跳躍競技は胸部または背部だけでよい。
トラック種目では、腰ナンバーカードをパンツの右側やや後方に付けること。4×400mリレーの第2・第3走者は、次走者の待機順を明確にするため、右側に腰ナンバーカードをつけること。また、3000m・5000m 5000mWについては、招集を受けた後、別ナンバーカードを受け取ること。
- (2) スパイクのピンは、本数は11本以内とし、9mm以下の全天候競技場用のものを使用すること。ただし、走高跳・(やり投)については12mm以下とする。また、スパイクの直径は先端近くで少なくとも長さの半分は4mm 四方の定規に適合するように作られていなければならない。
- (3) トラック種目では、すべてタイムレースとするが、100m・200m は決勝レースを行う。
- (4) トラック競技でフィニッシュした競技者は本部前を通らず、競技場内のバックスタンド前を通過してスタート地点に帰ること。
- (5) 競技エリア内にビデオ装置、携帯電話、スマートフォン、タブレット等の電子通信機器等を持ち込むことはできない。また、競技エリア内で助力を与えたり受けたりしている競技者は失格の対象となる。フィールド競技に出場している競技者が、それ以前の試技の映像をコーチ席以外の場所から提示して見ることは認めない。跳躍競技および投擲競技では、録画映像を提供する者から受け渡しが可能であれば、競技者は撮影した人とコミュニケーションを取りながら録画再生機器等を手にしてもよい。ただし通信通話機器機能の使用は競技規則により禁止である。

- (6) 集団での声援（応援）及び不正な助言行動は自粛すること。

なお、手拍子については決勝のトップ8 以降のみ可とする。（高さ種目においては概ね8名）

- (7) フィールド種目について

- ① トップ8を行う。
- ② 跳躍種目はセレクションラインを設ける(走幅跳・三段跳は、1回は全員計測)。
○走高跳【男子】1m50 【女子】1m25 ○走幅跳【男子】5m20 【女子】4m20
- ③ 走幅跳は1組(メインスタンド前トラック側)、2組(メインスタンド側)で行う。
走高跳は第二曲走路内側で行う。但し、2組で行う場合は、第二曲走路内側のメインスタンド側を1組、バックスタンド側を2組とする。
三段跳の踏切板は男子11m00、女子9m00とする。
- ④ バーの上げ方は下記のとおりとする。※走高跳・棒高跳ともに練習の高さは当日現地で決定する。

男 走高跳	練:現場判断 / 1m50 1m55 1m60 1m65 1m70 1m75 1m80 以降 3cm
女 走高跳	練:現場判断 / 1m25 1m30 1m35 1m40 1m45 1m50 以降 3cm
男 棒高跳	練:現場判断 / 2m82 3m02 3m22 3m42 3m62 3m82 4m02 以降 10cm
女 棒高跳	練:現場判断 / 2m02 以降 10cm

- (8) 混成競技の走高跳のバーのあげ方は下記のとおりとする。

男 走高跳	練:現場判断 / 1m25 1m75 までは 5cm 以降 3cm ずつ上げる
女 走高跳	練:現場判断 / 1m15 1m45 までは 5cm 以降 3cm ずつ上げる

- (9) フィールド競技の試技制限時間

単独種目

残っている競技者数	走高跳	棒高跳	その他
4人以上※	1分	1分	1分
2~3人	1分30秒	2分	1分
1人	3分	5分	—
連続試技※※	2分	3分	2分

混成競技

残っている競技者数	走高跳	棒高跳	その他
4人以上※	1分	1分	1分
2~3人	1分30秒	2分	1分
1人	2分	3分	—
連続試技※※	2分	3分	2分

※4人以上または各競技者の最初の競技は1分とする

※※残っている競技者数が2名以上の時に適用し、走高跳・棒高跳では高さが変わった場合にも適用する。

(10)男 5000m・女 3000mは二段階スタートとする。グループ分けは出発係の指示に従うこと。ラスト1周で男 5000mは 19 分 00 秒、女子 3000mは 14 分 00 秒を超える選手は、トラック審判長が競技を打ち切る。競歩種目では、ラスト1周で男子 5000mW は 33 分 00 秒、女子 5000mW は 37 分 00 秒を超える選手は、競歩主任が競技を打ち切る。ハーフパンツでの出場は認めない場合もある。

7. やり以外の競技用具は、競技場備え付けのものを使用する。やりの検定は、競技開始時刻の 90 分前より 30 分間、用器具庫前(メインスタンド下南側)で行う。

8. 表彰について

- (1)各種目 6 位入賞者は、表彰状があります。受け渡しは、顧問の先生を通じて行います。
- (2)決勝がある 100m・200mの表彰は、決勝の各組 1 位の者を記録順に 1 位から 6 位とする。
- (3)リレーの賞状は1校5枚とする。

9. 免責事項について

- (1)競技中に生じた事故については、応急処置の他一切の責任を負わない。
- (2)競技会に関わる全ての人の感染に対するいかなる責任も負わない。
- (3)J アラート警報が発令された場合や雷時には、競技を中断・中止する場合がある。その場合は参加料の返金はしない。

10. その他

- (1)顧問の受付がない学校の競技者の出場は認めない。
- (2)プログラムは配付しないので、各校で印刷準備をすること。
- (3)競技日程はプログラム記載のものを確認すること。HPにUPされているスタートリストの競技開始時間は参考なので、必ず競技日程を確認すること。
- (4)補助員分担は別頁に記載してある。
- (5)記録は、電光掲示板およびWEB ページで確認すること。(記録ボードは設置しない)
- (6)撮影についてはスマホとタブレットのみ可能。(当該生徒のみ)
- (7)盗難が発生しているため貴重品等の持ち物の管理は各校・各自で注意すること。
- (8)中央大会 1 日目(5/29)の開門抽選は、4 日(月祝)13:00~13:15 の間に南役員室付近で行う。

第79回大阪高等学校陸上競技選手権大会(中央大会)について

1. 地区予選会(今大会)にエントリーしない者は中央大会に出場できない。
2. 種目にエントリーした選手のうち、シード権(各種目昨年度ランキング8位以内の者に与えられる。ただし、競歩・混成・女子[三段跳・棒高跳]は6位以内の者とする)を行使した場合は、今大会に出場できないため、参加料を顧問に返金する。
3. 中央大会への出場者は以下の通りである(第79回大阪高等学校陸上競技選手権大会要項)
 - ①100m・200mは今大会の決勝の各組上位4名の合計24名
 - ②4×100mは今大会にエントリーしたチームすべて、4×400mは今大会の記録上位32チーム
 - ③競歩は、3・4地区も合わせた全体で記録上位者とシード選手を合わせた合計30名
 - ④混成競技は、3・4地区も合わせた全体で記録上位者16名
(混成競技・競歩の中央大会出場者は、判明しだい連絡する)
 - ⑤女子の棒高跳、三段跳は今大会の記録上位16名
 - ⑥ハンマー投はエントリーした全員
 - ⑦上記①~⑥以外は、今大会の記録上位者24名
 - ⑧シード権を与えられた者(要項参照)。ただし、シード権を放棄し、地区予選会に出場した者は除く。
- (1)トラック競技で、24位(4×400mは32位、100mと200mは各組4位)の記録が1/100 秒まで同じ場合は、1/1000 秒の単位で判定する。それでも判定できない時は抽選とする。フィールド競技で24位が複数の場合は抽選とする。

- (2) 出場の可否は、決勝記録の発表(放送・掲示・大阪高体連陸上競技専門部 web)で確認すること。
今大会中に改めての連絡はしない。
今大会各種目の参加人数(エントリー総数からシード選手を除いた人数)が24名以下の種目(女子の棒高跳、三段跳は16名以下、4×400mは32チーム以下)にエントリーした者は、全員(全チーム)が中央大会に出場できる。競技において欠場・コールもれ・失格などであっても出場できる。
- (3) 3・4地区の地区予選会の参加人数が中央大会の出場規定数に不足する種目がある場合は、1・2地区予選会の25位(女子の棒高跳、三段跳は17位、4×400mは33チーム)以降からその不足分を補充し、中央大会に出場できる。
4. 中央大会の出場辞退について
- (1) 決勝記録の発表後、本大会中に地区主任に辞退届を提出すること。なお、提出後の変更は、一切認めない。辞退届の提出なき場合は出場する意志があるものとする。
- (2) 辞退届が提出された場合は、25位(女子の棒高跳、三段跳は17位、4×400mは33チーム)以降の者から補充する。ただし、決勝を行う100m・200mは、決勝各組5位の者で記録上位の者を補充する。(1/100秒まで同タイムの時は1/1000秒の単位で判定し、それでも判定できない時は抽選する)また、フィールド競技で25位(女子の棒高跳、三段跳は17位)が複数の場合は抽選を行う。
5. リレーメンバーの変更について
リレー種目のエントリーメンバーを変更する場合は、大会中にリレーメンバー変更届を本部に提出すること(2日目全競技終了時刻から15分後を締め切りとする)。
6. 中央大会の出場者への連絡文書を、5月13日(水)を目途に、顧問あてにメール送信する。
7. 各校は参加選手一覧表を作成(男女別は不要)し、校長印・顧問印を押印の上、5月29日(金)の学校受付時に提出すること。また、参加料(個人種目1種目500円 混成種目1000円 リレー1種目1000円)を、後日案内する大阪高体連陸上競技専門部の口座に期日までに振り込むこと。
8. 中央大会の日程
5月29日(金)・30日(土)・31日(日) 9時30分競技開始 ヤンマーフィールド長居

以上

個人情報の取り扱いについて

プログラム記載の個人情報(名前、学校名など)および大会結果は、大阪陸上競技協会、大阪高体連陸上競技専門部のWEBサイト等に記載されますが、本大会関係以外には一切使用しません。また、本大会が認めた報道機関が撮影した映像が中継・録画放送されることがあります。